



大根占町 おおおじめ

昭和 41 年 1 月 1 日 No. 148

編集と 鹿児島県 肝属郡 大根占町役場
発行 総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254)
印刷 大根占印刷所 (電話 70)

町の (40年12月1日現在 推計人口)
人口 男6,096人 女6,855人 計 12,951
前の月と同じ



賀正

新春を迎えて

町長 坂元 左武郎

新年おめでとう
ございます。
昭和四十年は、いろいろな
面でめまぐるしい歩みをつづ
けた年でありました。
高度経済成長政策のもと、
大きく発展してきた日本経済
は、各産業間に大きな格差を
生じ、国もそのヒズミ是正に
全力を傾けるという段階を迎
えましたが、一般産業界を喚



こうした場合の中で、町民
の生活を豊かにする努力を重
ねることが、私に課せられた
責務であり、その最善の方策
として、多年の懸案となつて
いました大根占地区水田の区
画整理事業をはじめ、農業構
造改善事業等着工の運びとな
りましたが何れも緒についた

年頭のあいさつ

議長 本 釜 清

明けまして
おめでとうございませう
昨年の国勢調査で、本町の
人口はこの五年間に一五四二
人減っている結果になりました
た。これは何も本町に限った
ことでなく全国の農村部に共
通の現象ですが、本町の場合
減少の割合が著しく、それ
だけに農業経済をとりまく問



題のむつかしさ、転換期に立
つ農業のあり方というものを
痛切に考えさせられる次第で
す。昨年中、町政の大きな課
題は両農協の合併問題であり
ましたが、議会といたしまし
ても特別委員会を設置して合
併を推進しようとする町長に
対して全面的に協力いたした
次第であります。幸いに町民
みなさまの御理解と御支持を
いただき、幾多の難関をのり
こえて、三月一日の合併を待
つばかりとなりましたことは
御同慶に堪えません。
また、画期的な農業構造改
善事業も、池田、鳥浜両地区

といる段階で、更に今後大
きな努力を必要とします。
老人ホームの開闢、チリ焼
却炉の建設、学校教育設備の
整備など、皆さんの御協力に
より、諸施策が、予定どおり
進行、実現しつつあります。
他方では、私の多年の念願
としていました両農協の合併
が、それぞれの農協総会にお
いて決議され、すでに設立委
員会も発足しましたので、町
農政発展のため、大きく貢献
するものと確信し、皆さんと
ともに喜びにたえません。
年の始めに当り、これらの
諸施策を踏台に、町勢伸展の
ため、あらゆる障害を乗り越こ
え、山積する諸案件の解決に
全力を傾注したいと存じます
皆さんも、健康にこのうえ
とも充分御留意くださいまし
て、ことしも元気で御尽力く
ださい。

で相次いで着工の運びとなり
目立った災害もなく農業近代
化の命題に向つて、着実に前
進しつつありますことは、心
強い次第で、議会としまして
も任期最終の年を迎えてさら
に一段と研究努力いたしたい
と存じます。

町政の今後は、さらに社会
の進展につれて、環境衛生施
設、上水道、道路、教育施設
の建設と幾多懸案をかかえて
おりますが、私ども議会活動
を通じて、最大の努力を傾注
いたしたいと思ひます。

昨年は、経済界も不況ム
ードのうちに明け暮れた年であ
りましたが、ことしは何とか
明るい曙光がみえるのではな
いかと思ひます。

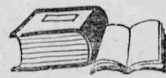
町民のみなさん、四一年も
一家元気で過ごしあらんこと
を祈念いたし、またよろしく
御協力をお願い申し上げます
新年の御挨拶いたします



※正月は読書で※
家族本位の「お正月」を、
たのしい読書ですごしましよ
う。

公民館に次の新図書が入り
ました。(一般小説)

島崎藤村集 島崎藤村 著
るさとの唄 石坂洋次郎 著
明物語 水上勉 著
故郷 丹羽文雄 著
清張 人生画帖 石川達三 著
戦国一斉経(下) 村上元三 著
大風呂敷 杉森久英 著
やくざ帳 山手樹一郎 著
人案内 山手樹一郎 著
盛林房雄 著
信天 京の川 水上勉 著
の悪 石坂洋次郎 著



田村英次郎 酔って候 司馬遼太郎 江戸幕府(上、下) 北島正元 香港の人 菊田一夫 鶴のくる町 水上勉 堀田村泰次郎 個人的な体験 大江健三郎 知覧 高木俊郎 虫も樹も 尾崎一雄 おきん 水上勉 戦国一斉経(上) 村上元三 覇者交替(上、下) 鷗尾雨上 次郎 長三同志 男性無用 源氏鶏太

飲酒運転は事故のもと 管理者も充分な注意を

年末、年始は、飲酒運転や過労による交通事故が、毎年ふえています。ことしも県下各地でこのような事故が起きています。

車を運転する人はもちろん、事業主の方も雇人がこのような運転をすることにならないよう、運行管理を適正にして、事故防止に御協力ください。

次に昨年十二月中旬に町内でおきた事故について反省してみましよう。

十二月六日の午後九時頃、鳥浜の国道で、神川方面から走って来た飲酒運転の五人乗り普通自動車、向い合って走って来た車のライトに目が

たけの発生が早い、原木がながもちません。樹皮の厚い、クスギは、発生は多少おそくなりますが、原木が長く使え、品質のよい、しいたけができます。

樹令は、クスギは一〇年、二〇年、シイ、カシ類は二〇年以上のものがよく、クリ、

失敗することがありますから注意しましよ。

次にこの人工栽培法について簡単に知らせます。

一、人工栽培の利点

1、雑菌(しいたけ菌以外の菌)が浸入することが少ない

2、菌の打込み方法を誤まらなければ、確実にしいたけが発生する。

3、しいたけの発生が早い。

4、有利な品種の栽培ができる。

5、栽培に定期的制限がない

二、原木の種類

いろいろありますが、本町で得られるものでは、

クスギ、シイ、クリ、カシ、

などがあります。

一般的に樹皮のうすい、シイ、クリ、カシなどは、しいたけの

小さい原木も大事に

雑菌発生にも注意

シイタケ栽培

は比較的若いものが結果がよいようです。

樹の太さ 末口直径五センチ以上二〇センチ位までが適当でしょう。

原木は、大きいものでなければならぬように考えられがちですが、同じ材積なら、細いもの

知らながら飲酒運転による事故はつきつきにおきています。充分反省して、「酒を飲んだら、ハンドルを取らない」ようにしましよ。

2については、免許証を取って一年以内の人がよく事故を起しています。車になれるまでは、絶対に安全運転が必要

くらみ、運転をあやまつて、約四米下の田ぼに落ち、乗っていた五人のうち三人が全治十日位のけがをしました。

この事故の主な原因は、

1、運転手が酒を飲んでいて

2、免許をとってから間がな

3、急カーブで除行しなかつ

4、相手の車のライトに目が

5、相手は、飲酒運転で、

6、相手は、飲酒運転で、

お知らせ板

県人事委員会では、次の要領で、県職員中級試験及び市町村立、中学校事務職員の採用試験を行います。

1、受験資格

○短大又は、これと同等以上の学校を、昭和四十年三月以降に卒業した者、又は四十年三月卒業見込みの者(年令を問わない)

○昭和十六年四月二日から、昭和二十年四月一日までに生まれた者(学歴を問わない)

以上、行政及び、農業改良普及員、但し普及員にあつては、その資格を有する者に限る。

○短大又は、これと同等以上の学校を卒業又は、四十年三月卒業の見込みのもの(年令を問わない)

○昭和七年四月二日から昭和二十年四月一日までに生まれた者(学歴を問わない)

2、試験の日時及び場所

四一年一月三〇日午前九時から県立短大で、一次試験、二次試験は二月中旬の予定です。

3、受験申込用紙

県人事委員会、財務事務所にあります。

4、願書受付期間

昭和四一年一月二十一日まで、郵送の場合は、一月二十一日の消印があれば受付ける。

その他、くわしいことは、県人事委員会事務局に聞いてください。

郵便による問合せは返信用封筒に十円切手を添付、宛先を明記して送付すること。

建設工事二題

大根占中給食室完成

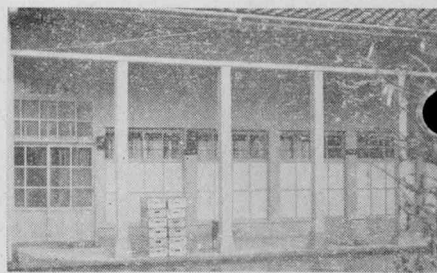
公営住宅着工

大中給食室

町は、昭和三十七年十一月に大根占小学校と、池田小学校で完全給食を実施してから、町内全小、中学校にこれを普及すべく、施設の整備を急いでいきましたが、三十九年一月に宿利原小、中学校、四十年二月に神川小、中学校と池田中学校でそれぞれ、完全給食を

行い、大根占中学校だけがミルク給食を実施していましたが、このほど給食室が完成し先月十六日から、待望の完全給食が行はれることになりました。

できあがった給食室は、建物が一、一五、五平方メートル、矢崎組が施工、内部施設は、カマド（重油バーナ）



四基、流し三基、そのほかで鹿兒島市の日本調理器の施工で、総経費、八万七千五百円をもって作られたものです。

公営住宅着工

年度ははじめから計画されていた公営住宅の建築は、県の補助が決り、このほど入札が行はれ、工事着工の運びとな

一来年は、ヒノエウマの年だから、こどもが生れて、もし女だったら、将来嫁にやりにくくなる。……ここの内にこどもを生んでおこう」などと、昨年下半年の出生率が高かったとか。

丙午

ことしはそのヒノエウマの年に当ります。本町でもまだ、このヒノエウマ生れの女の子もみくらうところが多いようですが、人間が月旅行をしようという時に、いまさら何年生れはどこのころの、という時代でもありますまい。

こんな伝説こそまさに前世紀、まさに、むかしむかしのおとぎ話といわざるを得ません。昨年は二人目のノーベル賞

りました。その内訳は、木原、（錦江園の東側）に八戸（中井町）に建設、神川（中学校正門前）に五戸、大橋（セリ市場の東側）に三戸、池田（小学校東側）、宿利原（牧原崇宅南側）に各二戸、つ建設、計二〇戸を、総工費、一千四〇万五千円で、この春、三月中旬に完成する予定で工事に着工しました。

この住宅の構造は、簡易耐火構造（ブロック造）平屋建て、一戸当り三、三五平方メートル、（六畳二間、玄関、物置炊事場、便所、押入）となっています。

そのほか、中央分団の消防車庫を旧警察署跡に福永組の手で着工しました。

受賞者を出した科学日本に、もっともふさわしくない、まことに奇妙な風習が、このヒノエウマ、といえましよう。

元来午年とか巳（み）年（昨年）は、方向をあらわす十二支（ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さとり、いぬ、いのち）から由来するといわれています。これが動物の名にふりか

「昔、健全なる精神は健全なる肉体に宿る」といわれています。人間誰でも、いづれでも健康で、若々しく、美しくありたいと、思はない人はいない筈です。

そこで、町及び公民館では町民の健康保持に少しでも役立てようと、「町民みな体操」実行運動をすすめることにしました。

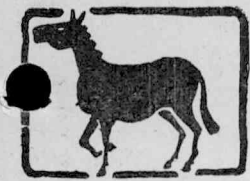
あなたも若くなれます。
正月からは是非はじめよう。

「町民皆体操」運動

- 1（足のばし運動）
手を腰にとり、両足をそろえ、膝を深くまげる。次いで手を腰にとり、両足を思いきって横にのばし、交ごに手で膝をおさえる。
- 2（手をのばし肩をほぐす運動）
手を、前と上に交互にふる。真すぐ立ち、肩を前後にまわす。
- 3（首をほぐす運動）
頭を、前後左右にそれぞれ二、三回倒した後、大きく左、右から回転する。
- 4（体を後にたおす運動）
足を半歩開き、手を腰にあて、上体を大きく後にたおす（この場合ひざを少々まげてよい）。
- 5（体を横にたおす運動）
足を横にひらき、片手を上にあげ、上体を横に倒しながら、片手を足にそって、下にずらしながら、おろしてゆく（両方とも、おろした手が、フクラハギの中央にとどくまで）。
- 6（体をひねる運動）



昭和四十年十二月三十一日現在で工業、物資流通の二つの統計調査が一月中に実施されます。対象事業所（商店）に調査員が伺いますので調査の趣旨をご理解のうえご協力をお願いします



今月の農作業

ばれいしよや、玉ねぎなどの水田裏作は、雑草がひどいので除草剤（クロロアイビーシ）を使って、除草につとめる。

※葉タバコ

作業のくわしいことは、別途公社から指示されますが、概要は次のとおりです。

本紙農政特集号でお知らせしたように、ことしは例年にくらべ、相当な早作になります。

親床への種まきが今月の10日前後になります。準備を急ぎましょう。

子床への移植は、2月10日までにようになります。この方の準備もあわせて、急いでください。

※家畜の管理

1、寒さがますますきびしくなります。大事な家畜を守るため、防寒の設備をしてやりましょう。

日光浴も忘れてならない大事なことです。

また、青刈エンバクなどの飼料作物の追肥は、刈取った都度、窒素系（尿素、硫酸）のものを少量ずつ施しておく、と、収量がふえます。

2、不時の事故や、感冒がはやっています。注意してください。

感冒の症状は、鼻汁が出て食欲がなく、ぼんやりして注意力が鈍くなり、熱が40度ぐらいになります。糞は、小さく、固く、なりがちで、尿も赤黄味を帯びてきます。

このような症状がでたら、先づ感冒と考えて、専門家にみてもらうことです。

うつかりすると見のがしがち、朝夕手入れして注意すれば、すぐ発見できます。

「早期発見、早期治療」の大事なことは、人間のガンだけではありません。



※一月の家事
お正月の年始が終わったら、今年の生活設計をぜひ立てること、とくに若い人たちに実行するようぞみます。児童生徒のおられるご家庭では、八日が始業です。ご用意はいかがですか。

衣服の準備にとりかかりましょう。生活も室内にとちもりがちです。換気に気を配ってください。

※一月の衣服
お正月に着た晴着の始末はお済みですか。しみやよごれは、自分の手に負えないと思ったら専門家に任せましょう。へたをするとあとで使えなくなるものです。

この四月学校を卒業して就職する方々は、早目に就職用の衣服を用意しておきましょう。

奥さまの手帳

しよう。二月末から三月にかけては、衣類も高目になります。一月中は洋服屋さんも暇だそうです。

冬物の安売りを利用しましょう。ことしはとくに繊維業界の不振から、冬物整理の売出しがあらちこちで見られそうです。のび盛りのお子さんのおられるご家庭では、この整理売り出しをよく研究されて、合理的な衣服計画を立ててください。

一月も末になると冬物の毛布やマットレスなどまで投げ売りに出ています。いずれも季節はじめにくらべ三〜四割安となるようです。

ただ気をつけなければいけないことは、投げ売り、整理売りと称して粗悪品を売っているところもあります。信用ある店をえらぶことです。

※一月の食生活
お正月料理も四、五日ごろになると、もてあまし気味。おもちにも飽きがきましよう。むかしからの風習の「ななくさがゆ」などは、その意味で、一度こころみてくださいくとくに七草にこだわることなく、適当な野菜を入れて、正月の残り物でもあったら、いっしょに煮こんで、おじや風にして食べると、体は暖まり胃のもたれもなく、こどもに喜ばれます。

※農事一般

1、今月は農閑期、かねて手のまわらない農機具の手入、農業用施設の整理など、まめにやっておく、そして、家族全員でことしの農業経営の検討をしてみる。中心となる作目は、それにどの作目を組みあわせてゆくか、そのためには、土地はどうか、労力の配分は、資金はどうするかなど、いろいろな問題があります。もしわからないときは役場経済課、農協、などの技と相談してください。

2、早期水稲の種まきは、3月、種子は必ず芽出しの試験をして、もし悪いようだったら早目に交換しておきましょう。

※果樹

何はさておき寒害から守るため、防風垣の完備を急ぐこと。

越冬カイガラ虫類防除のため、機械油乳剤2、5〜3%を散布する。起冬ダニの駆除も行いましょう。

※そさい

防寒施設を完備する。

成人の日

さあ人生山征服への第一歩
いきいきが頑張るぞ



戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

一月十五日は成人の日、大人になったことを祝い励ます日であなただけの人生に新しい記念すべき日です